

## 地域包括ケアシステムの充実

実績については断りがない場合は9月末までの実績  
【】括弧内は、年間計画に対する実績値の進捗率

## 1 生きがいづくりの支援

## (1) 高齢者が担い手として役割を発揮できるしくみづくり

## 目指す成果

高齢者自身が、社会参加や社会的役割を持ち、様々な担い手として地域で活動している。

## 事業実績

- ア シルバー人材センター 実就労者数：1,106人 延べ就労者数：114,201人【62.1%】
- イ シニア人材バンク登録者数：77名【85.6%】  
実ボランティア数：201名 延べボランティア数：381名（10月末現在）
- ウ 老人クラブ会員数：11,956人【86.6%】 延べ活動会員数：9,864名
- エ 元気高齢者施設 実ボランティア数186名 延べボランティア数1,824名
- オ ふれあい給食 延べ参加者数：1,148人【25.0%】（8月末現在）
- カ にこにこ入浴デー（10月末現在）  
実施回数 1,167回 延べ利用者数 167,064人【56.8%】

ア 家事援助サービスの受注は、受託件数738件、受託金額4,580,075円

平成29年度から開始された労働者派遣事業は、配送業務を中心に、受託件数8件、受託金額11,832,440円となっている。

イ シニア人材バンクにおける社会貢献活動などを通じ、高齢者が生きがいを感じている。H30.10末現在、毎月継続して行っているものも11件ほどあり、単発でなく継続であることで、より深い関係の形成に役立っている。また、活動内容の中には、高齢者同士だけでなく子供や若い方と関わる活動もあり、双方により良い影響を与え合うことができている。

ウ 老人クラブでの様々な活動では、高齢者の健康増進や生きがいづくりに寄与するだけでなく、他者とのつながりをもつことにより新たな自分の居場所ができ、充実感や心の安らぎを得ることができる。また、小・中学校を対象とした平和のかたりべ事業・児童との交流事業（昔遊びの伝承）では、高齢者の過去の経験を次世代に語り継ぐための役割を担っている。



イ シニア人材バンクの活動

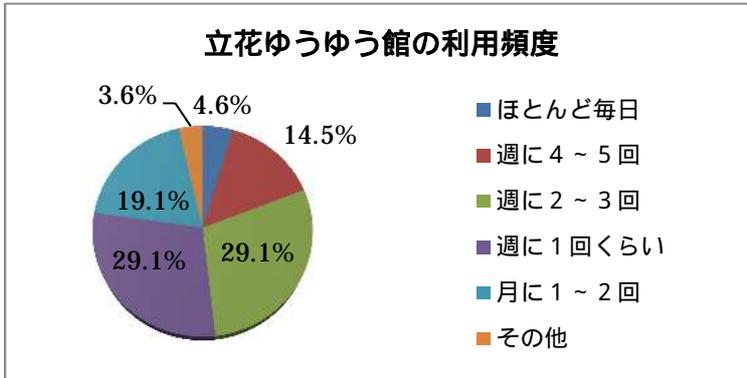


ウ 輪投げ大会



ウ 平和のかたりべ事業

エ 元気高齢者施設の事業である、パソコン教室、健康麻雀教室、盆踊り等では、施設の利用者でもある、ボランティア講師が活躍している。また、立花ゆうゆう館を例にとると利用者の8割近くの方が週に1回以上施設を利用しており、施設に来て仲間たちと時間を共有することを生きがいとしていることがわかる。



パソコン教室



盆踊り

オ 日ごろ交流の少ない地域の高齢者と保育園児が給食や交流会を通してふれあい、豊かな人間性の育成や高齢者の生きがいづくりに寄与している。

カ 平成29年7月から、毎週木・金のいずれか1日に入浴できる週2日制を導入した。このことにより今までの金曜日だけに比べ、利用者数が増加し、利用者や浴場経営者からも賛同の声をいただいている。利用日の増加や利用者の増加により、ますます交流の機会の創出につながっている。

## 2 介護予防・重度化防止の推進

### (1) 介護予防の推進・重度化防止の推進

#### 目指す成果

高齢者が介護予防の必要性に気づき、日常生活の中で自ら介護予防に取り組み続けている。

#### 事業実績

- ア 介護予防普及啓発事業 15事業 延べ参加者数 6,491名【41.8%】
  - イ 地域介護予防活動支援事業
    - (ア) 通いの場支援事業 14団体【77.8%】 延べ80回
    - (イ) 講師派遣制度 1団体 延べ4回【50.0%】
    - (ウ) 介護予防サポーターステップアップ教室 6回開催 延べ参加者数224名
    - (エ) 介護予防サポーター公開講座 1回開催 参加者数105名【87.5%】
- (10月末現在)



イ(ア) 介護予防自主グループ交流会



イ(ウ) 介護予防サポーターステップアップ教室

### 3 生活支援サービスの充実

- (1) 生活支援サービスの整備、充実
- (2) 日常生活上の多様なニーズへの対応
- (3) 生活支援サービスの充実に向けた担い手の発掘・育成

#### 目指す成果

高齢者の在宅生活を支えるための多様な事業主体による多様な生活支援サービスがあり、高齢者自身が選択できるようになっている。

#### 事業実績

##### ア 生活支援体制整備事業

###### (ア) 生活支援コーディネーターの設置

第1層 区1名 社会福祉協議会1名【100%】

第2層 高齢者支援総合センターに各1名 シルバー人材センター1名【100%】

###### (イ) 協議体の開催

墨田区高齢者生活支援サービスネットワーク連絡会 延べ10回【160%】(10月末現在)

###### ・訪問型サービスB(10月末現在)

申請件数17件 利用者数(延べ)306人 利用時間数(延べ)1,465時間【58.6%】

##### イ 火災安全システム申請件数 火災警報器3件【25%】、自動消火装置3件【30%】

ガス安全システム0件【0%】専用通報機0件【0%】、電磁調理器6件【54.5%】(10月末現在)

##### ウ 日常生活用具給付 給付件数336件(シルバーカー333件,入浴補助用具3件)【50.6%】(10月末現在)

##### エ 高齢者補聴器購入助成 申請件数48件 支出件数36件

オ 紙おむつの支給:8,885件【50%】 46,153,398円

おむつ代助成:596件 3,872,547円

##### カ 寝具洗濯乾燥サービス 延利用者数117件【33.9%】(10月末現在)

##### キ 理美容サービス 申請件数702件 利用枚数750枚【35.5%】

##### ア 生活支援体制整備事業

生活支援コーディネーターが、各地域で「お互いさま」の地域づくりの応援を実施しています。具体的には、自主グループ連絡会の開催、集いの場での生きがいづくり、地域資源マップの作成などを行っています。生活支援コーディネーターチラシ(みまもりだより掲載)

##### 訪問型サービスB利用者及び

##### シルバー人材センター会員アンケート結果

アンケート回答件数 訪問型サービスB利用者13件

エンジョイ家援隊の会員11件

利用者が良いと感じていること。

墨田区生活支援体制整備事業

#### 「お互いさま」の地域づくりを応援しています!

墨田区では、高齢者がいつまでも住み慣れた地域で自立した生活を継続できるよう、高齢者支援総合センター、墨田区社会福祉協議会、墨田区シルバー人材センター、墨田区高齢者福祉センターに「生活支援コーディネーター」を配置しています。生活支援コーディネーターは地域の生活支援ニーズや社会資源の把握、地域の方々企業との連携による社会資源を活用したサービスの充実、社会資源の情報提供などを行っています。



#### 生活支援コーディネーターの具体的な取り組み

～ 地域の皆さんと一緒に地域づくりを進めています ～



自主グループ連絡会の開催

集いの場での生きがいづくり

地域資源マップの作成

掃除等の家事援助について、綺麗になり嬉しい・気分がいいという意見（11件）は全体にあった。会員に対し、人柄がいい、誠実、明るい、気配りがあることが「良い」（6件）と感じている。

その他には、お話ができて嬉しい（2件）、との意見もあった。

#### 利用者の要望

- ・料金払いシステムに、手数料がかかるのを何とかして欲しい。（1件）
- ・もっと時間を増やしたい。（1件）

会員が良いと感じていること。

ほぼ全員が、利用者がかかる感謝の言葉が、励み、報いになると言っている。（6件）教えたり教えられたり、利用者の知識や経験が勉強になる（3件）という意見もあり、サービス提供だけでなく相互間の交流が感じられる。

#### 会員の要望

- ・利用者の要望、何をどうして欲しいのか遠慮なく言ってほしい。（2件）
- ・利用者の体調が悪くならないなど、身体の維持ができればと願う。（2件）

## 4 ひとり暮らし高齢者等への支援と地域での支え合いの推進

- (1) 見守り等の生活支援の充実
- (2) 緩やかに見守り、支え合う地域づくり
- (3) 高齢者の権利擁護の推進

### 目指す成果

ひとり暮らしの高齢者が、地域住民・見守り協力員・専門的な見守りやサービス利用を通じた見守りにより、安心して在宅生活が続けられる。

### 事業実績

高齢者みまもり相談室（10月末現在）

8カ所新規相談件数 1,949件 年度新規

継続相談件数 2,623件

実態把握（アウトリーチ）により地域で埋もれている高齢者の発掘、支援につなげているほか、あらゆる関係機関と連携を図ることで見守りネットワークを拡充し、安否確認をはじめとした異変時の迅速な対応等が可能になっている。

高齢者見守りネットワーク事業（10月末現在）

見守り協力員 119人

地域みまもり活動協定 5社

すみだ高齢者見守りネットワーク事務協力機関 3事業所

ながら見守り活動に関する協定数 4件

ふれあい訪問（10月末現在）

ふれあい訪問対象者数 2,761件

ふれあい訪問回収数 2,536件

高齢者熱中症等対策事業

猛暑避難所「涼み処(すずみどころ)」の設置 15 箇所(設置期間 H30.6.1~30.9.30)  
 熱中症予防普及啓発ポスター及びカードの郵送 15,858 世帯(75 歳以上の高齢者のみ世帯)  
 緊急通報システム(10 月末現在)  
 平成30 年度新規申請数 138 人【43.1%】 廃止数 130 人  
 緊急通報システム利用者数 1,273 人【79.6%】  
 うち安否確認センサ利用者数 100 件  
 急病等の緊急時の迅速な対応、24 時間 365 日の相談対応が可能になり、ひとり暮らし高齢者等の在宅生活における安全・安心に資するものとなっている。センサにおいては、急病等に  
 限らず孤立死の早期発見にもつながっている。  
 高齢者福祉電話(10 月末現在)  
 平成30 年度新規申請者数 11 件 廃止数 13 件  
 配食みまもりサービス(10 月末現在)  
 配食数 165,431 食 【55.1%】  
 安否確認件数 136,363 件(内、利用者の緊急対応をした数 50 件)  
 高齢者に配慮した食事の配達を通じて、利用者の安否確認を行っている。毎年一定数の緊急  
 対応があり、利用者の安全・安心確保に寄与している。  
 高齢者虐待通報件数 119 件(11 月末現在) 虐待認定件数 52 件(11 月末現在)  
 成年後見区長申立件数 48 件【64.0% 母数は厚生課計画数】(11 月末現在)

「成年後見取り組み、自治体で差 支援機関設置、半数未定」 2018 年 12 月 16 日 朝日新聞

朝日新聞は7~8 月、主要105 自治体(政令指定市・東京23 区・中核市・県庁所在市)にアンケートを実施。利用促進のカギと位置づけられる「中核機関」と、利用を申し立てる家族がいない場合の安全網となる「市区町村長申し立て」について尋ねた。〔略〕市区長による申し立て件数(17 年度)には、実数で年間1 件から309 件まで開きがあった。高齢者1 万人あたりの件数に直して比べると、最も多かった東京都墨田区の年11・5 件に対し、最も少なかった長崎市、大分市では0・2 件にとどまった。指定市間でも、岡山市の6・4 件から浜松市、札幌市の0・6 件まで差が生じていた。東京23 区が上位に目立つが中央区は0・4 件と少なく、23 区内でも開きがあった。

## 5 医療と介護の連携強化

- (1) 在宅介護・介護連携の推進
- (2) 在宅療養高齢者に対する環境整備

### 目指す成果

医療と介護のサービスを一体的に提供できるしくみを充実させ、医療・介護ニーズを併せ持つ高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで続けることができる。

### 事業実績

ア 墨田区在宅医療・介護連携推進協議会及び部会の開催(10 月末現在)  
 (ア) 第1 回墨田区在宅医療・介護連携推進協議会 平成30 年7 月19 日  
 (イ) 第1 回情報共有ツール部会 平成30 年6 月26 日  
 (ウ) 第1 回認知症初期集中支援検討部会 平成30 年7 月27 日  
 (エ) 第1 回多職種連携部会 平成30 年10 月9 日

#### イ 医療・介護関係機関の連携推進

多職種の情報共有を円滑にするため、情報共有ツール部会における検討をもとに「墨田区標準様式 多職種連携情報シート」等の情報共有ツールを作成し、平成30年7月から、区ホームページにおいて公表した。

#### ウ 在宅医療に関する人材育成や普及啓発

(ア) 医療と介護の連携研修会を実施(平成30年7月25日、8月21日)

(イ) 墨田区在宅療養ハンドブックを活用した普及啓発

#### エ 高齢者支援総合センター、在宅療養支援窓口における相談対応 等

## 6 認知症ケアの推進

- (1) 認知症予防、早期発見・早期診断及び受診体制の充実
- (2) 認知症高齢者等の介護者支援

### 目指す成果

認知症になっても、その人の意思が尊重され、地域で安心して生活することができる体制、地域づくりを行う。

### 事業実績

ア 認知症ケアパスの改定、配布(平成30年10月改定)

イ 認知症講演会の開催

ウ 認知症アセスメントシート(DASC)の普及啓発

エ すみだ認知症サポートかるたの活用

オ すみだ認知症ホットダイヤル 相談件数 6件

カ 認知症初期集中支援チーム 支援対象者 12件

キ 認知症高齢者家族介護者教室の開催 32回

ク オレンジカフェすみだ 南部、北部各毎月1回開催

ケ 認知症サポーターの養成 708人【39.3%】(累計延べ17,582人)

コ 徘徊高齢者家族介護者安心事業 利用者21人



エ すみだ認知症サポートかるた



ク オレンジカフェすみだ

## 7 介護サービスの質の向上

- (1) サービスの担い手となる人材の確保・育成
- (2) 介護サービス提供事業者への支援
- (3) 高齢者支援総合センターの機能強化

### 目指す成果

多くの介護人材が確保・育成され、サービスの担い手として活躍するとともに、質の高いサービスが安定的に供給され、介護ニーズに的確に対応できている。

### 事業実績

区のお知らせ「介護保険特集号」(10月21日)の発行 83,000部  
高齢者福祉サービスのしおり「たんぼぼ」の発行 49,000部  
すみだ介護福祉フェア2018の開催・・・【資料3-1】【資料3-2】のとおり  
介護相談員の介護施設への訪問 205回(10月末現在)  
介護保険事業者連絡会の開催 2回(10月末現在)  
介護支援ボランティア・ポイント制度 登録者数 175名(10月末現在)

### 高齢者支援総合センターの機能強化関連

福祉総合型高齢者支援総合センターの整備状況

- (1) 八広はなみずき高齢者支援総合センター (平成31年2月1日開設)  
墨田区八広5-18-23(京成押上線高架下)
- (2) ぶんか高齢者支援総合センター (平成31年夏開設予定)  
都営文花一丁目団地1階部分 (正式な住居表示は未定)

福祉総合型高齢者支援総合センターでは、高齢者支援総合センターの従来業務に加え、身体障害者手帳の取得支援窓口の定期的な開設や、介護予防事業の展開を実施する。

地域包括ケア会議の充実(10月末現在)・・・【資料2-2】のとおり

地域ケア推進会議(地域課題)42回【105%】

地域ケア個別会議(個別課題)14回【35.0%】

## 8 自分に合った施設、住まいの選択

- (1) 住宅施策と福祉施策の連携
- (2) 身体状況の変化に対応した住まい方の普及
- (3) 介護保険施設等の整備

### 目指す成果

高齢者自身が、サービスを利用していない段階から、将来を見据え、ニーズに合った住宅の改修や住まい方を考え、その後は、高齢者自身が望む、加齢による身体の衰え等に対応した住まい方ができる。

### 事業実績

特別養護老人ホームの整備 9施設 772床整備済み  
新規1施設分について、平成32年度竣工に向けて準備中  
地域密着型サービスの整備 小規模多機能型居宅介護 1件応募有（計画数1）  
認知症高齢者グループホーム 1件応募有、1施設公募中  
（計画数2）  
都市型軽費老人ホームの整備 6棟 120床 整備済み

### 都市型軽費老人ホーム さんいくハイツ東あずま（平成29年11月1日開設）



区内都市型軽費老人ホーム 稼働率(入所者数/全床数)					(単位:%)
年度	H26年度末	H27年度末	H28年度末	H29年度末	H30年10月末
施設数	3	4	5	6	6
稼働率	98.3	96.3	92	97.5	98.3